

市長とのかがやきライフトーク

【大垣市女性団体懇話会】

と き / 令和元年7月29日（月）11：00～12：00

ところ / ハートリンクおおがき・研修室

参加者 / 15人

【大垣市女性団体懇話会会長】

本日は、本会が例年実施している「上石津あしたばそうめんの販売」の紹介をはじめ、構成団体の皆さんの活動の近況や課題、市への提言などを伺いたいと思います。



【大垣市女性団体懇話会副会長】

本会は例年、水都まつりの会場である大垣駅通りで、上石津あしたばそうめんの販売を行っています。

あしたばの名前の由来は「夕べに摘んでも明日には芽が出る」というほど強靱で発育が速いことからきており、ビタミン、カリウムなど様々な栄養素が含まれています。

上石津地域で栽培されたあしたばを細かく粉挽きし、そうめんに練りこんでいます。現在は養老町の製麺所で作っているが、市内の製麺所でも作っていただけると良いと願う。

【市長】

市内の製麺所も随分減った印象があるが、小川製麺さんなどにぜひやっていただけると。

【大垣市女性団体連合会】

本会では、おおがきが明るいまちになることを目的として、連合自治会と連携し地域に根ざした様々な活動を行っています。主には月1回の婦人学級や2月のまとめの会を開催するとともに、市内外へ視察も行っていきます。

【大垣市生活学校】

本会は、全国組織「(公財)あしたの日本を創る協会」を母体として、生活の中から課題を見つけ解決に向けた活動を実施しており、昨年度で50周年を迎えました。

これまでの活動で特に、ゴミ分別の実施によりゴミ削減をめざす活動を通じて、平成7年に総務省のふるさとづくり大賞を受賞いたしました。

現在は、清流の国づくりとして、川の水質調査や家庭排水処理の啓発活動を実施しています。先日、作成した啓発ポスターを、地域の自治会館等でPRに活用したいという依頼をいただきました。こうした声が大変励みになるとともに、今後も研鑽を続け次代へつなげていきたいという気持ちを新たにしているところです。

【大垣市くらしのセミナー】

本会の活動は34年になり、市環境フェスティバルなど市と連携した事業を実施しています。会員の高齢化が課題となっているものの、年3回の布ぞうり作り講習会は毎回多くの方に参加いただき、大変人気をいただいております。

また、昨年度は大垣警察署と連携し、振り込め詐欺防止啓発キャンペーンの実施を行いました。本年度は少し減ったと感じています。

【市長】

本市は、平成29年、30年と詐欺被害額が県下ワースト1でした。大垣の人は貯蓄が多いことや相手を信用しやすい人が多いなど、理由はいろいろ推察されますが、この汚名を返上するべく、本市では各団体と情報共有を図りながら消費者被害の防止に努めており、本年度は、今のところ被害の減少につながれていると聞いています。

【大垣市食生活改善協議会】

本会は、現在310人の会員とともに、子どもから高齢者の健康づくりを目的とした活動を行っています。例年、市内21か所で親子料理教室を実施しており、調理方法や作法を学ぶだけでなく、朝食の習慣づけ、協調性や心の豊かさを醸成する食育を心がけております。

また、8月31日の野菜の日に合わせて野菜ファーストキャンペーンを実施しています。市の特産であるブロッコリー、梨、マコモダケの活用をPRし、地産地消の推進とともに食生活からメタボ、ロコモ、認知症を予防し、健康のまちづくりをめざしています。

【大垣市赤十字奉仕団】

赤十字奉仕団は各市町村にあり、市長には地区長になっていただいております。高齢者や障がい者支援活動として、月2回、くすのき苑やいぶき苑の慰問を行っています。高齢化に伴う会員数の減少が課題となっていますが、今後も地区社協などと協力しながら活動を継続していきたいと思っております。

【大垣市女性団体懇話会会長】

市長へのご意見などがあればお願いします。

【大垣市女性団体連合会】

女性の地域づくりとして、地域の婦人会などいろいろな団体がありますが、どれも全員が加入しているわけではないため、地震などの災害を想定し、包括的な女性のネットワークがあると良いと思います。避難所開設などもスムーズに行く部分があると考えます。

【市長】

女性の避難所運営は重要な課題です。男性目線になりがちですが良くないと考えています。有事の際にはその時リーダーを決めている余裕はないため、各地域で事前に防災行政無線や防災士のネットワークがしっかり機能する体制づくりを行うことが大切ですね。



【大垣市生活学校】

最近、またゴミが増加傾向にあると思いますので、ゴミ問題について改めて見直す時期ではないかと感じます。

【大垣市食生活改善協議会】

最近、レジ袋を簡単に渡す店が増えてきたので、マイバッグ運動を再びやりましょう。

【市長】

以前のマイバッグ運動はショッピングセンターを対象に実施しました。最近はコンビニやドラッグストアが増えていますね。

【大垣市女性団体懇話会会長】

ゴミを減らす取り組みとして、マイバッグ運動や食べきり運動などがありますが、それぞれの団体活動の中でまず自分たちから心がけていきましょう。

【大垣市食生活改善協議会】

大垣市が子育て日本一のまちなのはとても良いことです。全ての分野を実施するのは難しいとは思いますが、今後さらに増える高齢者の増加に対応するため、路線バスの本数を増やすなど、買い物支援をはじめとした交通手段のサポートをお願いできればと思います。

【大垣市女性団体懇話会会長】

路線バスを見ると乗客が少ないので残念に思っています。ドア to ドアが当たり前になってしまっているのですが、どうすればニーズが増えるでしょうか。

【大垣市食生活改善協議会】

愛知県などでは、高齢者にバスチケットを配布しているようですが、大垣市も親子バスチケットのように高齢者を対象としたバスチケットがあればどうでしょう。

【市長】

医療機関通院用のバス利用に対する助成を実施しています（高齢者バス通院助成事業）。

【大垣市女性団体連合会】

玉池公園をいつもきれいに整備していただきありがとうございます。ただ、池一面の浮き草が臭いという地域の方のご意見があります。

【大垣市食生活改善協議会】

我々の会議は保健センターを利用していますが、駐車場に限られるため、健診と重なると我々が駐車場から出て行かざるを得ない状況です。有料駐車場は、1回の利用で7～800円かかります。こうした負担が会員減につながらないか心配です。

【大垣市女性団体懇話会会長】

市長には、いろいろお願いさせていただきました。一度に全てご対応いただくことは難しいと思いますので、事務局から担当部局へ共有していただければと思います。



【市長】

本日は、多くのご意見をいただきました。特に、高齢者と公共交通の問題は本当に重要な課題です。高齢者は、被害者だけでなく加害者になる可能性もありますが、この車社会でいかに公共交通の意識を高めることができるかということです。さらに、高齢者は車の乗り合わせに抵抗感があるという点も災害時などの課題となってまいります。

いただいたご意見を参考に、市民の皆さんのニーズを把握してまいりたいと存じます。本日はありがとうございました。